

E-KEKKA 委員会議事録

2019/04/09（火）20：00～ @ふれあい歯科ごとう

【参加者】

林、板垣、五島朋、清谷、高瀬、白取、上野（栄養士会）、奥村（栄養士会）、宮崎、牧野、佐伯、矢作（敬称略）

★「食べっプリ」報告書の障壁検討

- ・診療報酬があげられない
- ・必須項目は病名等 厚労省があげている項目は削除してはいけない
- ・プラスアルファとして活用するならあり
- ・現在の検査値 モニタリングすべき数値
- ・デイの栄養改善加算や自立支援型の介護予防では活用できるかも
- ・現行は独自の電カルが多い
- ・同施設であれば逐一カンファレンス
- ・医師との連携はがつつすべき
- ・医師が欲しがっている様式ではない
- ・興味が無い医師の心を動かすためのきっかけになるもの
- ・嚥下機能評価項目必要 学会分類 2013 必須 共通認識として

★訪問栄養指導を広めるにあたって

- ・栄養士会は区ごとにないため、地域で管理栄養士が探しづらい→支部化を進めている
→・新宿の支部に協力していく
- ・ケアマネへのアピールを強化すべき
- ・居宅レベルの利用者が行政のサービス対象となってしまう
- ・管理栄養士に持っているイメージを変えていく必要もある。「制限する人」という。
- ・「住み慣れた街でいつまでも」の冊子に職種ごとの強みが載っている。活用できる
- ・ふれあい歯科ごとうを栄養ケアステーションにしてしまうのは有りかも

次回：5/20（月）19：30～ふれあい歯科ごとう（管理栄養士メンバーのみ）

※ここで一度原点に戻り、当初の管理栄養士メンバーのみで現状や今後の課題について話し合う機会を設ける